

報道関係者各位

2026年6月30日

デフスポーツの普及に貢献し 誰もが自分らしく輝ける社会を目指す

一般社団法人日本ろう者サッカー協会と キッズパートナー契約を締結

ケイアイスター不動産株式会社（本社／埼玉県本庄市、代表取締役社長／埴 圭二、以下「当社」）は、この度、一般社団法人日本ろう者サッカー協会（活動拠点／東京都文京区、代表理事／高橋 孝司、以下「JDFA」）とのキッズパートナー契約を締結しました。本協賛を通じて、デフサッカー（ろう者サッカー）およびデフフットサル（ろう者フットサル）の活動、ならびに次世代のアスリート育成環境の充実をサポートし、誰もが自分らしく挑戦できる共生社会の実現に貢献します。



協賛の背景と社会的意義

当社グループは、「豊かで楽しく快適な暮らしの創造をめざす豊・楽・快（ゆたか）創造企業」という経営理念を掲げています。その一環として、2019年4月に「ケイアイチャレンジドアスリートチーム」を発足し、現在4名のデフアスリートと監督が所属しています。同チームには、デフサッカー・フットサルチームの監督や選手が在籍しており、これまでも教育機関等と連携したパラスポーツ認知向上のための体験会や講演会を積極的に行ってきました。

2025年11月に開催された東京2025デフリンピックは、多くの人々に感動を与え、デフスポーツや障がいへの理解を深める大きな契機となりました。当社は、大会が閉幕した今こそ、障がいを乗り越えてさらなる高みを目指してチャレンジを続けるアスリートの環境を維持することが企業の重要な社会的責任であると考え、今回のJDFAへの協賛を決定しました。

今後の展望

当社は今後、JDFAのキッズパートナーとして、持続的なサポートを行います。また、多様な人材がそれぞれの強みを活かして生き生きと活躍できる社会となるよう、持続可能な取り組みを進めてまいります。地域とのつながりを大切にしながら、企業としての社会的責任を果たし、「豊・楽・快（ゆたか）」の実現を目指して貢献を続けてまいります。

■ ケイアイスター不動産株式会社とは

「豊かで楽しく快適なくらしの創造」を経営理念に、「すべての人に持ち家を」をビジョンに掲げ、『高品質、だけど低価格なデザイン住宅』を供給しています。

仕入から販売までを一気通貫で行う、「KEIAIプラットフォーム」と「コンパクト戸建住宅」という独自のビジネスモデルによって、分譲住宅市場シェアの拡大を図ります。

事業エリアは、首都圏を中心に全国各地で分譲住宅事業を展開販売(※)しています。2026年3月期の売上高は3,939億円(※グループ連結数。年間9,489棟(土地含む)を販売)。

【会社概要】

社名 ケイアイスター不動産株式会社 (コード番号：3465 東証プライム市場)
代表 代表取締役社長 塙 圭二
所在地 〒367-0035 埼玉県本庄市西富田 762-1
資本金 4,818百万円 (2025.3.31 現在)
設立 1990年11月
従業員数 2,664名 (連結 / 2025.3.31 現在)
URL <https://ki-group.co.jp/>
事業内容 分譲住宅事業、中古住宅再生事業、注文住宅事業、ストック事業、アパート事業、収益事業、分譲マンション事業、フランチャイズ事業、海外事業 ほか

【報道関係者からのお問合せ先】

ケイアイスター不動産株式会社 広報室 広報課

TEL：03-5299-7575 FAX：03-5299-7562 E-mail：press@ki-group.co.jp